

令和6年度

「大規模の建設事業」の評価に関する意見

令和6年12月18日

建設事業外部評価委員会

令和6年12月18日

神戸市長 久元喜造様

建設事業外部評価委員会  
会長 福島 徹

### 「大規模の建設事業」の評価に関する意見の提出について

本委員会は、市長からの審議依頼に基づき、市が実施する「大規模の建設事業」に関する評価内容とそれに基づく対応方針（案）について、事業の必要性、進捗の見込み、その他必要な観点から調査審議を行い、市長に意見を具申します。

令和6年度の本委員会は、再評価1件、事後評価1件の合計2件について、市が行った評価内容（行政評価に係る資料）と対応方針（案）の説明を受け、それらの妥当性に関して慎重に審議を行いました。

審議の結果、本委員会の意見を次のとおりまとめましたので、提出致します。

記

## 1 審議対象事業の内容と意見

今回の審議対象となった事業について、いずれの事業も市民の安全・安心で快適な生活を確保し、都市の発展や地域振興を図るうえで必要な事業であり、市が行った評価内容と対応方針（案）は適切と認められるため、「妥当」と判断した。

今後も神戸市の基本計画等における各事業の位置づけや意義を的確に捉え、事業の円滑な推進と事業効果の更なる発現に努めるとともに、市民の理解を得られるよう表現を工夫して事業内容の周知に努められたい。

なお、事業効果については、貨幣換算が困難とされている効果も、事業の主目的であればなおのこと可能な限り今後数値化すること、また大きな目標をいくつかの目標を設定して複数の事業実施によりその達成をはかろうとする事業においてはその関係性をわかりやすく図示する等、より市民にわかりやすく示すよう努められたい。

### (1) 国道 428 号（箕谷北）道路改良事業

国道 428 号は神戸市中央区多聞通から三木市吉川町（中国道吉川 IC）に至る一般国道で、神戸市地域防災計画において緊急輸送道路に指定されている。

本事業は、神戸市北区山田町下谷上～山田町原野の区間において、道路が狭隘で大型車同士のすれ違いが困難であることや、過去に通行止めを伴う災害が再三にわたり発生しており、異常気象時の通行規制対象路線に指定されていることから、安全で円滑な交通を確保するためバイパス整備を行うものである。

今回、令和元年に事業採択されてから 5 年が経過することに伴い再評価を行ったものである。

本事業の実施により、事業の主目的とする①異常気象時や災害時における通行止めによる損失の回避、②歩行者の安全性・安心感の向上、③ドライバーの安全性・安心感の向上の達成が期待できるとともに、円滑な交通の実現により①交通事故の減少、②走行時間の短縮、③走行経費の減少、④CO2 の排出削減も期待できる。また、これらの効果に対する費用便益分析は妥当であり基準値を満足している。

このように、本事業の完成により、交通の円滑化、安全性の向上や災害時における道路ネットワークの確保など、大きな効果が期待されるため、評価は「妥当」である。

## (2) 都市構造再編集集中支援事業神戸ハーバーランド地区（第2期）

本事業は、都心の西の核として文化、商業、業務等の多様な施設が立地している神戸ハーバーランド地区において、ウォーターフロントの立地を活かした新しい都市拠点として、アクセス機能の向上、まちの回遊性の向上、まちのにぎわいの創出を図るものである。

令和2年度に事業着手し、令和6年度を事業完了年度としているが、令和7年度から次期計画に着手することから、最終年度である令和6年度に本事業に対する事後評価を行うものである。

本事業の評価は、事前に設定した目的を達成するための個別事業とその評価指標に基づいて実施しており、その所見は以下のとおりである。

### ・ 弁天町交差点デッキ改良（アクセス機能の向上）

本事業は、国道2号を横断する弁天町交差点デッキを南側へ延伸する事業であり、「弁天町交差点デッキの通行者数（ハーバーランド北線の通行者数）」を指標として評価を行っているが、事業期間中のため、目標値を達成できていない。

しかし、本事業の実施により、元町方面からのアクセス性の向上（地区内2階レベルでの回遊動線有）、車いす・ベビーカー等の利用者が安全・快適にハーバーランドへアクセス可能となること、交通安全性の向上や地上交通の渋滞の緩和等が期待でき、事業完了後に目標値を達成すると見込んでいる。

### ・ メトロ神戸地下通路の改良（アクセス機能の向上）

本事業は、新開地と高速神戸を結ぶ地下通路「メトロこうべ」中間通路の天井部・壁面の美装化、柱の装飾、照明の新設・再配置を行う事業であり、「メトロこうべ中間通路の歩行者数」を指標として評価を行っている。

本事業の実施により、メトロこうべの歩行者数は増加しており、新開地方面からのアクセス向上が図られている。また、中央広場を活用したイベントや映像装置の設置などのにぎわいづくりにも取り組んだことにより、目標値は達成されている。

### ・ コミュニティサイクル「コベリン」（まちの回遊性の向上）

本事業は、三宮や元町などの周辺エリアとの回遊性の向上のため、コミュニティサイクルの2つのポートを設置する事業であり、「コミュニティサイクルの貸出・返却数」を指標として評価を行っている。

本事業の実施により、相生町ポートでは、神戸駅と元町・三宮エリアの回遊性の向上が図られ、目標値を満足している。一方、東川崎町ポートでは、地区内に他のポートが設置されたことで利用者が分散した結果、目標

値を達成できなかったと考えられる。

地区内全体でみると、貸出・返却数は増加傾向にあり、今後、東川崎町ポートにおいては、地区内や周辺エリアの他のポートも含めて利用促進が図られるよう、努められたい。

・ **デュオドーム屋根の遮光遮熱対策（更なるにぎわいの創出）**

本事業は、デュオこうべ浜の手にあるデュオドームの屋根に遮光遮熱対策を実施し、音と光の演出機器を設置する事業であり、「デュオドームでのイベント回数」を指標として評価を行っている。

本事業の実施により、特に夏場の利用環境が改善され、年間のイベント数は増加傾向にある。目標値には到達していないが、令和6年度には更なる利用促進を見込んでおり、1年以内に目標値を達成すると推測される。

・ **国道下空間を活用した購買施設等の設置（更なるにぎわいの創出）**

本事業は、デュオこうべ浜の手の国道下空間において道路占用の特例制度を活用し、購買施設や食事施設、広告を設置することでにぎわいの創出を図るものであり、「デュオこうべ浜の手の通行者数」を指標として評価を行っている。

本事業は平成25年度から実施しており、デュオこうべ浜の手の通行者数の維持を目標としている。事業の継続によりハーバーランドへの動線ににぎわいの創出が図られ、目標値を達成している。

上記5つの個別事業のうち、2つの事業については目標値を達成している。残る3つの目標値を達成していない事業においても、一定の効果や、将来的に目標値を達成する見込みを確認でき、事業全体として、アクセス機能の向上、まちの回遊性の向上、まちのにぎわいの創出を図ることができたと考えられることから本事業への評価は「妥当」である。

今後、官民連携によるまちづくり、来街促進やにぎわいづくりに取り組み、更なるアクセス機能の向上、まちの回遊性の向上、まちのにぎわいの創出を図られたい。

以上

## 令和6年度 審議対象事業一覧表

番号	事業名	事業採択年度	事業着工年度	事業完了(予定)年度	前回再評価実施年度	行政評価区分		所管課	所管省庁名
						条例区分	再評価区分(国)		
1	国道428号(箕谷北)道路改良事業	R1	R2	R10	-	①	②	建設局道路工務課	国土交通省
2	都市構造再編集集中支援事業 神戸ハーバーランド地区(第2期)	R2	R2	R6		④	-	都市局 駅まち推進課	国土交通省

※条例区分とは、神戸市行政評価条例施行規則において定める、

- ①：国庫補助事業のうち、実施を決定した後実施機関が定める期間未着手であるもの及び実施機関が定める期間継続中であるもの
- ②：一定規模以上の建設事業のうち、実施を決定した後5年間未着手であるもの
- ③：一定規模以上の建設事業のうち、実施を決定した後10年間継続中であるもの
- ④：社会経済情勢の変化等により実施機関が必要があると認める建設事業

※再評価区分(国)とは、国庫補助事業において、

- ①：事業採択後一定期間(5年)が経過した時点で未着工の事業
- ②：事業採択後一定期間(5、10年間)が経過した時点で継続中の事業
- ③：再評価実施後一定期間(5、10年間)が経過している事業
- ④：その他、社会経済情勢の急激な変化等により見直しの必要が生じた事業

# 参 考 资 料

## 建設事業外部評価委員会 委員名簿(令和6年度)

(五十音順、敬称略)

いのうえ さだこ  
井上 定子

(再任)

兵庫県立大学大学院 社会科学研究科 教授

(財務会計、国際会計)

おおいし さとる  
大石 哲

(再任)

神戸大学大学院 都市安全研究センター 教授

(水文気象学、災害時の水資源、リスクコミュニケーション)

おおた なおたか  
太田 尚孝

(再任)

兵庫県立大学 環境人間学部 教授

(都市計画、まちづくり)

しまだ なみ  
島田 奈美

(新任)

流通科学大学 商学部 准教授

(財務会計、国際会計)

ほんば みちこ  
馬場 美智子

(再任)

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授

(都市地域マネジメント、減災まちづくり)

ふくしま とおる  
(会長) 福島 徹

(再任)

兵庫県立大学 名誉教授

(都市計画、地域計画、まちづくり)



## 令和6年度 審議経過

区分	開催年月日	審議内容
第1回	令和6年9月10日	<ul style="list-style-type: none"><li>・会長の選出、会長代理の指名</li><li>・審議</li></ul> <p>(1) 国道428号(箕谷北)道路改良事業</p> <p>(2) 都市構造再編集中支援事業 神戸ハーバーランド地区(第2期)</p>
第2回	令和6年11月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第1回委員会の資料の修正に関する報告</li><li>・意見とりまとめ</li></ul>